



# 夢 実 現



## 軽トラック贈呈式

～後援会・同窓会から贈呈～



校内の作業や清掃、そして部活動の荷物の運搬に活躍してきた、軽トラックが老朽化してしまい、このほど本校後援会と同窓会から学校に贈呈されました。後援会の太田会長と同窓会宮城会長から、「軽トラックをどんどん活用し、部活動の活性化に役立て活躍してくれることを期待している。また、部美化作業にも活用する機会も多いと思うので、フル稼働させて母校が益々きれいになっていくとうれしい。学校のためにいつでも協力します」とあいさつをいただきました。

贈呈式に参加した、ラグビー部平安山結丸キャプテンと野球部の上地隆惺キャプテンは、「いつも校外で練習するときなど、部活動で活用させてもらっていた。新しい軽トラックをいただいて、校外に出て練習するときにも荷物の運搬がスムーズにできてうれしい。強くなって恩返しします」と、お礼の言葉を述べました。

## 3学年進路決起集会

共通テスト100日前

3年生の進路決定に向けてラストスパートに入った10月9日(水)進路決起集会が行われました。今年の3年生は311名で、それぞれが目標とする進路実現に向けて取り組んでいます。

体育館で行われた集会には、PTAの大城会長も参加し、激励とともにPTAから3年生全員に本校正門の写真と、メッセージが添えられた"KitKat"が贈呈されました。3年生はこの温かい贈り物に笑顔で進路実現に向けたやる気を見せていました。高校卒業の進路決定はこれからの人生における分岐点の一つでもあり、重要な選択です。だからこそ、悔いの残らないよう、真剣に、そして懸命に取り組み最後までやり尽くしてほしいと思います。「なぜば成る、なぜねば成らぬ、何事も」。それぞれが、自分の夢と目標実現のために、最後まで諦めることなく取り組めるように全員で「頑張ろう!」と気合いを入れました。



PTAからの贈り物

## 新旧生徒会長の思い

芽吹 華音

### 新生徒会長に

### 齋藤 華音 (2年)



10月10日(木)生徒会長選挙が行われ、新生徒会長に齋藤華音さんが選出されました。これまで先生が執行部として活躍してきた齋藤さんは、これからもっともっと名護高校を盛り上げたいという気持ちを持っての立候補で、新執行部がスタートする11月1日から現会長の比嘉芽吹さんからエールが送られると思っ

たきかけは、(齋藤)周りの人たちがやりたいと思っていることがたくさんあり、その思いを聞いていく中で、自分ももっとたくさんあることに気づき、自分が生徒会長になって進めて行くことに決意しました。芽吹さんは生徒会長をやってきて、この1年間を振り返り何を感じたか

(比嘉)生徒会長をやって本当に良かった。全校生徒の思いを汲んでスクールカラー(生徒会認定)を決めることができたのは大きな成果となりました。満足度は高く感じていますが、もう少しイベントを多く実行し

てみたかったです。企画や思いを実行に移していくことの難しさや緻密な計画と準備の大切さを学ぶことができた。執行部と共々活動してきたこの1年間は、とても充実していました。感謝です。特にやっていきたいことはあるか

(齋藤)これまで以上に学校生活を充実させ、盛り上げるために季節を意識したイベントを行っている生徒会主催の行事も、創意工夫して充実させていきたいです。Q 具体的に何か考えているか

(齋藤)様々な情報を収集し、名護高校・附属桜中学校独自の形を作っていきたいと考えています。例えば、高校総体などの推定式は全員が一体感を持って行うものに変更し、今回行われるハロウィンイベントも次年度は規模を拡大し、全校生徒で取り組んでいけるようにしたいと思っています。来年度3年生まで揃うことになる附属桜中の生徒会組織もこのようにしていくか一緒に考えていけたらということも考えています。Q 次期会長の華音さんに伝えたいことはあるか

(比嘉)今年度初めて行った学園祭後夜祭の「Good CC」企画は周りの力を借りて成功した企画の一つでしたが、最後は自分がしっかりと責任を持って取り組む必要があると思いますが、周りを頼ることはとても大切です。そこから新たな発見が生まれてくることもあるので、いつでもみんなを頼って計画を進めていくようにしてください。

Q 新生徒会長としての意気込は(齋藤)名護高校は昨年度も様々な催しがあり盛り上がりましたが、季節ごとのイベントなどももっともってできることはたくさんあると思っています。先輩からアドバイスがあったように、周りを頼りながらやっていきます。生徒会執行部に企画・計画担当を置き、十分な準備をして計画を実行していきます。まだまだ公表していない取組もありますので、楽しみにしてください。